



会 社 名	ジェイフロンティア株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長執行役員 中村 篤弘 (コード番号：2934 東証グロース)
問 合 せ 先	取締役執行役員 CFO 経営企画本部長 兼 コーポレート本部長 樋口 雄也
電 話 番 号	03-6427-4662 (代表)

当社は、2025 年 9 月 2 日付けの取締役会決議において、下記のとおり、株式会社フロンティアインターナショナル（以下、「フロンティアインターナショナル」といいます。）及び鹿内隆一郎氏（以下、フロンティアインターナショナルと鹿内隆一郎氏とを、個別に又は総称して「割当予定先」といいます。）を割当予定先とする、第三者割当による新株式の発行（以下、「本第三者割当増資」といい、本第三者割当による資金調達を「本資金調達」といいます。）並びに金融商品取引法による届出の効力発生を条件として割当予定先との新株式引受契約（以下、「本引受契約」といいます。）の締結を決議しましたので、その概要につきお知らせいたします。

(1)	払込期日	2025 年 9 月 18 日 (木)
(2)	発行新株式数	普通株式 106,270 株
(3)	発行価額及び処分価額	1 株につき 1,882 円
(4)	調達資金の額	200,000,140 円 発行諸費用の概算額を差し引いた手取り概算額については、下記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期」を参照下さい。
(5)	募集又は割当て方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、以下のとおり割り当てます。 ①フロンティアインターナショナル 53,135 株 ②鹿内隆一郎氏 53,135 株
(6)	その他	上記の各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件としております。

当社グループは、「人と社会を健康に美しく」を経営理念に掲げ、事業を推進しております。未病・予防→疾病→未病・予防という人々の「ヘルスケアサイクル」において、「疾病期間」の短縮化・「未病・予防期間」の長期化を通じた、健康寿命の伸長による社会保障費の削減に貢献すべく、「ヘルスケアサイクル」のすべてをカバーするサービスの拡充に取り組んでおります。「疾病期間」の短縮化に向けては、オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配をワンストップで提供するプラットフォーム「SOKUYAKU」の運営を通じ、医療機関のデジタル・トランスフォーメーション（DX）化の推進や、ユーザー（患者）や医師・薬剤師の利便性向上に努めております。「未病・予防期間」の長期化に向けては、人々の健康増進・生活の質向上に資する自

社オリジナル医薬品・健康食品・化粧品の販売といった D2C 事業（EC・通販事業）と、クライアント企業のヘルスケア商品の販促支援をはじめとする B2B 事業の推進に注力しております。これらの「ヘルスケアサイクル」に関連するサービスの強化を通じ、「SOKUYAKU ヘルスケア経済圏」を発展させ、超高齢化社会を迎える日本の深刻な社会課題解決の一助となることによって、当社グループの企業価値向上を目指しております。

当社グループは、既存事業の深化と持続的な事業拡大を実現するため、さらなる成長投資の検討を進めていた中、事業シナジーが見込め、当社の成長戦略をより強固なものとする事ができる相手先として、2025年3月に株式会社HUMEDITと資本業務提携契約を締結するとともに、共通の支配下にあるHUMEDIT SINGAPORE PTE. LTD. への自己株式処分及び新株発行による第三者割当として5億円の資金調達を実施いたしました。当該調達により得た資金は、「SOKUYAKUシステムのアップデート資金」として2025年5月末迄で25百万円（8月末迄で51百万円）、「広告宣伝活動資金」として2025年5月末迄で21百万円（8月末迄で43百万円）を充当いたしました。本提携の成果も寄与したことにより、2025年5月期の連結売上高は21,504百万円（前年同期比21.4%増加）、EBITDAは900百万円（前年同期は△145百万円）、営業利益は293百万円（前年同期は営業損失605百万円）、経常利益は231百万円（前年同期は経常損失694百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は87百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2,101百万円）と、増収増益となりました。

2026年5月期以降、当社グループは2025年8月29日付の「事業計画及び成長可能性に関する事項（中期経営計画 2026-2028）」に記載の中期アクションプランとして「ユーザー基盤の拡大」「サービス領域の拡張」「グローバル展開の推進」の3領域に注力することで「SOKUYAKUヘルスケア経済圏」の拡大を狙ってまいります。

斯かる戦略構想のもと、2025年5月期末の現預金残高は2,169百万円であり、2026年5月期の連結業績予想としましては、売上高23,600百万円（前年同期比9.7%増加）、EBITDAは1,015百万円（前年同期比12.7%増加）、営業利益327百万円（前年同期比11.3%増加）、経常利益240百万円（前年同期比3.7%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は100百万円（前年同期比14.2%増加）と、2期連続で増収増益を予定しているものの、2026年5月期中に既存の有利子負債の返済等として1,382百万円の支出を予定しており、現預金残高は減少する見込みであることから、適時適切に必要な十分な成長投資を行うための資金を確保すべく、総額2億円の第三者割当増資の実施を決定いたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（1）調達する資金の額

① 払込金額の総額	200,000,140 円
② 発行諸費用の概算額	9,878,182 円
② 差引手取概算額	190,121,958 円

（注） 1. 発行諸費用の概算額は、弁護士費用、紹介手数料及びファイナンシャル・アドバイザー費用、印刷費用、登記費用、調査費用の合計額です。なお、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

2. 下記資金使途に充当するまでの間、調達した資金は銀行預金で保管する予定です。

（2）調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① SOKUYAKU ヘルスケア経済圏の発展に資する各種マーケティング費用	190	2025年9月～2028年5月
合計	190	

調達する資金の使途の詳細は以下のとおりです。

① SOKUYAKUヘルスケア経済圏の発展に資する各種マーケティング費用

当社グループは本調達により得た資金を「SOKUYAKUヘルスケア経済圏」の参加者拡大および定着化を目的とした各種マーケティング投資に充当いたします。具体的には、中期アクションプランに掲げる「ユーザー基盤の拡大」に資する費用として、B2Cユーザー/B2Bクライアントの新規獲得とクロスユース促進に充当予定です。特に従来のデジタル/オンラインを主とした当社のマーケティングノウハウと、割当予定先である株式会社フロンティアインターナショナルの有するリアル体験マーケティングノウハウを組み合わせ、Webによりリ

アル体験イベント参加者/企業を集客し、イベント会場でのSOKUYAKU登録・相談予約、D2C試用～購入～継続までを一気通貫で設計・提供することで、“必要なときにすぐ”というSOKUYAKUヘルスケア経済圏の価値を体験として広げてまいります。

なお、調達した190百万円については、2026年5月期に50百万円、2027年5月期に70百万円、2028年5月期に70百万円を充当する予定です。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社は、上記「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおり、本資金調達により調達する資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な使途」に記載の資金使途に充当することで、リアル体験からのオンライン診療・D2C への流入といった両社の統合を実現できると見込んでおります。よって、当該資金使途は、企業価値の向上を実現するためのものと考えており、当社の既存株主の皆様

5. 発行条件等の合理性

(1) 発行条件が合理的であると判断した根拠及びその具体的内容

本第三者割当における発行価額は、割当予定先との協議及び交渉を重ねた結果、1株当たり1,882円といたしました。本発行価額は本第三者割当に係る取締役会決議日の直前取引日(2025年9月1日)の株式会社東京証券取引所グロース市場における当社株式の終値と同額となります。

上記発行価額は、直近の市場価額に基づくものが合理的であること及び、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」(2010年4月1日付、以下、「日証協指針」といいます。)によれば、第三者割当により株式の発行を行う場合には、その払込金額は原則として株式の発行に係る取締役会決議の直前日の価額(直前日における売買がない場合は、当該直前日から遡った直近日の価額)を基準として決定することとされているため、本第三者割当増資の発行価額を決定する際にも、取締役決議日の直前取引日の終値を基準といたしました。

なお、当該発行価額は、本第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前取引日(2025年9月1日)の終値である1,882円と同額、当該直前取引日までの1カ月間の終値平均である1,754円から7.30%のプレミアム(小数点以下第3位を四捨五入)、当該直近取引日までの3カ月間の終値平均である1,738円から8.29%のプレミアム(小数点以下第3位を四捨五入)、当該直近取引日までの6カ月間の終値平均である1,799円から4.61%のプレミアム(小数点以下第3位を四捨五入)となっております。

以上のことから、当社取締役会においては、本第三者割当増資の目的、他の調達手段の選択肢を考慮するとともに、本第三者割当増資の発行条件について十分に討議、検討を行い、本第三者割当増資における発行価額は、適正かつ妥当な価額であり、有利発行には該当しないものと判断いたしました。

また、当社監査役3名全員(うち2名が社外監査役)からも、取締役会において決定された発行価額は、取締役会決議日の直前取引日の終値に基づくものであることから、既存株主の利益保護の観点からも合理的なものであり、また、本第三者割当増資による増資規模の必要性、本第三者割当増資で発行する当社株式の流通量が既存株主に与える影響(詳細は、下記「(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠」を参照ください。)、当社の業績及び信用リスク、割当予定先が負う価格下落リスクの諸観点から十分な検討が行われていること及び日証協指針も勘案されていることから、有利発行でないことについて異論がない旨の意見が述べられております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資により増加する株式数は106,270株(議決権数1,062個)であり、2025年5月31日現在の当社発行済株式総数5,220,195株及び議決権数52,171個を分母とする希薄化率は2.04%(議決権ベースの希薄化率は2.04%)に相当します。また、発行決議日前6か月以内である2025年3月24日付でHUMEDIT SINGAPORE PTE. LTD. に対して割り当てられた株式数253,300株(議決権2,533個)を、本第三者割当増資により増加する株式数に合算した総株式数は359,570株(議決権数3,595個)であり、2025年5月31日時点の当社発行済株式総数からHUMEDIT SINGAPORE PTE. LTD. に対して割り当てられた株式数253,300株(議決権

2,533 個) を控除した発行済株式総数である 4,966,895 株及び議決権数 49,638 個を分母とする希薄化率は 7.24% (議決権ベースの希薄化率は 7.24%) に相当します。

しかしながら、当社は、本第三者割当増資による資金調達により調達した資金を上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な使途」に記載した各資金使途に充当する予定であり、これは今後の注力分野への投資を実現していくとともに、財務基盤の安定に資するものであって、中長期的な観点から当社の既存株主の皆様の利益に貢献でき、株主価値の向上に繋がるものと考えていることから、今回の第三者割当による資金調達に係る当社普通株式の発行数量及び株式の希薄化の規模は、株主価値向上の観点からも合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

① フロンティアインターナショナル

①	名称	株式会社フロンティアインターナショナル		
②	所在地	東京都渋谷区渋谷 3-3-5NBF 渋谷イースト		
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 河村康宏		
④	事業内容	プロモーション事業		
⑤	資本金	51,625 千円		
⑥	設立年月日	1990 年 6 月 19 日		
⑦	大株主及び持ち株比率	河村康宏 53.63%		
⑧	上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		取引関係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑨	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態 (単位: 円)			
	決算期	2023 年 4 月期	2024 年 4 月期	2025 年 4 月期
	純資産 (千円)	7,995,473	8,248,061	9,028,830
	総資産 (千円)	11,114,044	11,623,195	14,482,079
	1 株当たり純資産 (円)	1,791.44	1,844.24	1,998.04
	売上高 (千円)	17,047,839	16,944,764	20,335,121
	営業利益 (千円)	1,875,255	1,210,228	1,277,678
	経常利益 (千円)	1,864,836	1,232,338	1,267,159
	親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,302,176	488,129	876,068
	1 株当たり当期純利益 (円)	288.87	109.69	196.87
	1 株当たり配当金 (円)	58.00	39.00	99.00

(注) 1. 割当予定先の概要の欄は、別途記載のある場合を除き、2025 年 9 月 2 日現在におけるものです。

2. 小数点第 3 位を四捨五入しております。

※フロンティアインターナショナルは東京証券取引所グロース市場に上場しており、同社は、経営方針の一つである「公明正大な経営」に基づき、行動規範において、反社会的勢力を排除し、常に取引先様への責任を重く受け止め、自己を律する強い姿勢で臨むことを基本方針として掲げ、これに沿った体制を構築して運用することとしており、健全な経営のため、反社会的勢力との関わりを持たず、また不当要求には断固としてこれを拒絶する体制の整備を行っており、フロンティアインターナショナルの役員・従業員は、これら方針の目的を達成するため、「与信管理要領<反社会的勢力調査>」に制定された基準、作業手順を遵守するとともに、反社会的勢力の不当な介入を許すことなく、断固として排除する姿勢を示すとの考え方を 2025 年 7 月 31 日付けコーポレートガバナンスに関する報告書で表明しております。さらに、当社は、フロンティアインターナショナルから、反社会的勢力との間に利益供与関係又は委任若しくは雇用関係がなく、反社会的勢力が直接・間接を問わず同社の経営及び業務に関与していない旨の表明及び保証を受けております。以上のことから、当社はフロンティアインターナショナル関係者が反社会的勢力とは一切関係していないと判断しております。

②鹿内 隆一郎氏

①	氏名	鹿内 隆一郎	
②	住所	シンガポール	
③	職業の内容	投資家	
④	上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※当社は、鹿内隆一郎氏が、反社会的勢力と何らかの関係を有しているか否かについて、第三者調査機関である株式会社セキュリティ&リサーチ（代表者：羽田寿次、住所：東京都港区赤坂二丁目 16 番 6 号）に調査を依頼しました。その結果、鹿内隆一郎氏について、反社会的勢力である又は反社会的勢力と何らかの関係を有している旨の報告はありませんでした。以上のことから、当社は鹿内隆一郎氏が反社会的勢力とは一切関係していないと判断しており、その旨の確認書を東京証券取引所に提出しております。

（２）割当予定先を選定した理由

当社は、更なる成長加速を企図し、成長資金を調達できる先について、複数検討してまいりました。割当予定先の選定においては、複数の事業会社、投資家候補と接触を重ね、当社の事業概要、事業戦略及び財務状況や事業環境の現状と課題について理解したうえで、資金調達に賛同いただけるという、当社の割当候補先の選定方針に合致する割当予定先を検討してまいりました。

そうした中、当社は、2025 年 3 月頃、当社のアドバイザー（当時）であった株式会社ロータスワイズアソシエイツ代表取締役社長の蓮見智威氏より、当社が必要とする金額を調達し、かつ事業シナジーを存分に発揮できる可能性が高い事業会社として、株式会社フロンティアインターナショナル（以下、「フロンティアインターナショナル」といいます。）の紹介を受け、2025 年 8 月にかけて、その代表取締役である河村康宏氏と当社代表取締役社長である中村篤弘とが複数回協議をした中で、具体的な提案として、フロンティアインターナショナルを割当予定先とする第三者割当の提案を受けました。

また、当社代表取締役社長である中村篤弘の共通の知人の紹介により当社のアドバイザーとなった伊藤道幸氏より、2025 年 4 月頃、当社の経営理念に深く共感いただける投資家として、同氏が顧問を務める株式会社 X-Brain の代表取締役である鹿内隆一郎氏の紹介を受け、2025 年 8 月にかけて、鹿内隆一郎氏と当社代表取締役社長である中村篤弘とが複数回協議をした中で、具体的な提案として、鹿内隆一郎氏を割当予定先とする第三者割当の提案を受けました。

当社は、割当候補先の選定方針に照らして慎重に検討を重ねた結果、フロンティアインターナショナル及び鹿内隆一郎氏が第三者割当増資の割当予定先として最適であると判断いたしました。

その中でも、フロンティアインターナショナルの有するリアル体験型マーケティングや人材獲得、海外プロモーション等のノウハウと当社のデジタルヘルスケアのノウハウや医療機関・薬局のネットワークを組み合わせることで、当社の掲げる SOKUYAKU ヘルスケア経済圏の深化やアジアにおける同経済圏の創出をより確実に早期に実現することが可能になると考えられ、中長期的に以下の取り組みを推進してまいりたいと考えております。

① SOKUYAKU 及び D2C のユーザー体験の多面化

商業施設・オフィス・空港等での体験イベントを起点に、その場での SOKUYAKU 登録・相談予約、D2C 試用～購入～継続までを一気通貫で設計します。

② 企業・自治体向けウェルネス施策の加速化

企業オフィス・自治体巡回イベントや説明会の実施を強化し、SOKUYAKU ベネフィットや防災プランの導入を加速化します。

③ 医療人材需給の最適化

割当予定先の有する人材支援ノウハウにより、人材不足に悩む医療機関・薬局との人材マッチングの高度化を図ります。

④ SOKUYAKU ヘルスケア経済圏のアジア展開

割当予定先の有する多言語PRやアジア各国における現地イベント・展示会運営ノウハウにより、アジアでのSOKUYAKUヘルスケア経済圏を早期に創出します。

(3) 割当予定先の保有方針

①フロンティアインターナショナル

当社は、フロンティアインターナショナルの代表である河村康宏氏との間で継続保有に関する保有方針について、長期保有であることを当社代表取締役社長である中村篤弘が面談時に口頭で確認しており、その旨本引受契約にも記載がされる予定です。

②鹿内隆一郎氏

本株式について、当社と鹿内隆一郎氏の間で、継続保有及び預託に関する取り決めはありません。なお、鹿内隆一郎氏による本株式の保有方針は純投資であり、本株式の全部又は一部を売却する場合には、可能な限り市場動向に配慮しながら売却する意向である旨を確認しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から2年以内に本件第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

①フロンティアインターナショナル

当社は、フロンティアインターナショナルから、本新株式の払込金額の総額の払込みに要する資金は確保されている旨を口頭による報告を受けております。また、当社はフロンティアインターナショナルが2025年7月31日付で関東財務局長宛に提出した有価証券報告書（2025年4月期）の2025年4月30日における連結貸借対照表により、フロンティアインターナショナルが株式の払込みに要する十分な現預金等の流動資産（現金及び現金同等物 7,499,018 千円、流動資産計 11,861,924 千円）を保有していることを確認しております。

したがって、本第三者割当増資に係る払込みに要する資金の確保状況について問題はないものと判断しております。

②鹿内隆一郎氏

当社は、鹿内隆一郎氏から、J. Safra Sarasin 銀行の2025年8月19日付投資報告書を入手し、鹿内隆一郎氏の資産を確認するとともに、鹿内隆一郎氏より資金拠出を確約するコミットメントレターを受領しております。

したがって、本第三者割当増資に係る払込みに要する資金の確保状況について問題はないものと判断しております。

7. 大株主及び持株比率

募集前（2025年5月31日現在）		募集後（2025年9月18日現在）	
中村 篤弘	45.38%	中村 篤弘	44.48%
株式会社篤志	19.16%	株式会社篤志	18.77%
HUMEDIT SINGAPORE PTE. LTD	4.85%	HUMEDIT SINGAPORE PTE. LTD	4.76%
株式会社プレミアム・キャピタル・マネジメント	3.00%	株式会社プレミアム・キャピタル・マネジメント	2.94%
松原 明男	1.63%	松原 明男	1.60%
楽天証券株式会社	1.36%	楽天証券株式会社	1.33%
蓮見 智威	1.13%	蓮見 智威	1.11%

松井証券株式会社	1.04%	松井証券株式会社	1.02%
株式会社フロンティアインターナショナル	-	株式会社フロンティアインターナショナル	1.00%
鹿内 隆一郎氏	-	鹿内 隆一郎氏	1.00%
株式会社丸喜堂	0.94%	株式会社丸喜堂	0.92%
DBS BANK LTD FOR WELLS GLOBAL ASSET MANAGEMENT LTD 700285	0.79%	DBS BANK LTD FOR WELLS GLOBAL ASSET MANAGEMENT LTD 700285	0.77%

(注) 1. 持株比率は、2025 年 5 月 31 日時点の株主名簿に基づき記載しております。

2. 割当後の大株主及び持株比率は、本第三者割当後の発行済株式数に基づき記載しております。

3. 持株比率は、小数点第 3 位を四捨五入しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当による 2026 年 5 月期連結業績に与える影響は軽微であります。開示の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本資金調達には、①希薄化率が 25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、取引所の有価証券上場規程第 432 条「第三者割当に係る遵守事項」に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績（連結）

	第 15 期 2023 年 5 月期	第 16 期 2024 年 5 月期	第 17 期 2025 年 5 月期
売 上 高 （ 千 円 ）	16,844,572	17,714,904	21,504,496
営 業 利 益 （ 千 円 ）	△1,816,484	△605,179	293,746
経常利益又は経常損失（△）（千円）	△1,841,199	△694,719	231,541
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 （ △ ） （ 千 円 ）	△1,899,919	△2,101,074	87,570
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 （ △ ） （ 円 ）	△410.60	△429.05	17.42
1 株 当 たり 配 当 金 （ 円 ）	—	—	—
1 株 当 たり 連 結 純 資 産 （ 円 ）	525.78	229.59	269.11

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2025 年 9 月 2 日現在）

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	5,220,195 株	100.00%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	41,800 株	0.80%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

回字 決算年月	第15期 2023年5月期	第16期 2024年5月期	第17期 2025年5月期
始 値 (円)	2,285	2,359	2,398
高 値 (円)	3,435	5,830	3,365
安 値 (円)	1,740	2,290	1,082
終 値 (円)	2,370	2,359	1,607

(注) 最高株価及び最低株価は、2022年4月4日より東京証券取引所グロースにおけるものであり、それ以前は東京証券取引所マザーズにおけるものであります。

② 最近6か月間の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
始 値 (円)	2,088	1,966	1,749	1,590	1,738	1,690	1,893
高 値 (円)	2,269	2,110	1,793	1,980	1,965	2,050	1,946
安 値 (円)	1,824	1,440	1,520	1,556	1,538	1,628	1,873
終 値 (円)	1,996	1,749	1,607	1,870	1,691	1,929	1,882

(注) 1. 各株価は、東京証券取引所グロースにおけるものであります。

2. 2025年9月の状況につきましては、2025年9月1日現在で表示しております。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2025年9月1日
始 値	1,893 円
高 値	1,946 円
安 値	1,873 円
終 値	1,882 円

(注) 各株価は、東京証券取引所グロースにおけるものであります。

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

第4回新株予約権

割 当 日	2022年11月7日
発行新株予約権数	4,167 個
発行 価 額	新株予約権 1 個当たり 2,600 円
発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	1,019,664,900 円
割 当 先	UBS AG London Branch 4,167 個
募集時における 発行済株式数	4,771,024 株
当該募集による 潜在株式数	416,700 株
現時点における 行使状況	行使済株式数：170,000 株 (残新株予約権数 0 個、行使価額 2,421 円)

現 時 点 に お け る 調 達 し た 資 金 の 額 (差 引 手 取 概 算 額)	411, 570, 000 円
発 行 時 に お け る 当 初 の 資 金 使 途	オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配プラットフォーム「SOKUYAKU」の更なるユーザー獲得に向けた広告：1, 019, 664, 900 円
発行時における支出予定 時 期	2023 年 6 月～2026 年 5 月
現 時 点 に お け る 充 当 状 況	オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配プラットフォーム「SOKUYAKU」の更なるユーザー獲得に向けたテレビ CM や Web 広告等に関する広告宣伝費：411, 570, 000 円

(注)2023 年 7 月 26 日「第 4 回新株予約権（行使価額固定型）の取得及び消却に関するお知らせ」にてお知らせのとおり、本新株予約権の取得及び消却については、足元、当社の株価が本新株予約権の行使価額を大きく上回っており、現在の株価水準よりも大幅に低い行使価額での株式の発行により、既存株主の持分が必要以上に希薄化することを勘案しました。また、SOKUYAKU 事業の収益性の強化に向けた取り組みが順調に進んでいることから、投資計画における当面の資金は、手元資金及び第 5 回・第 6 回新株予約権の行使による調達予定の資金で充足可能である点も考慮した結果、残存する本新株予約権の全部を取得及び消却する意向を割当先に伝達し、本新株予約権による資金調達を中止することといたしました。なお、残存する 2, 467 個の新株予約権は 2023 年 8 月 10 日付で取得し、消却いたしました。

第 5 回新株予約権

割 当 日	2022 年 11 月 7 日
発行新株予約権数	1, 389 個
発行 価 額	新株予約権 1 個当たり 630 円
発 行 時 に お け る 調 達 予 定 資 金 の 額 (差 引 手 取 概 算 額)	500, 040, 000 円
割 当 先	UBS AG London Branch 1, 389 個
募 集 時 に お け る 発 行 済 株 式 数	4, 771, 024 株
当 該 募 集 に よ る 潜 在 株 式 数	138, 900 株
現 時 点 に お け る 行 使 状 況	行使済株式数：138, 900 株 (残新株予約権数 0 個、行使価額 1 株につき 3, 600 円)
現 時 点 に お け る 調 達 し た 資 金 の 額 (差 引 手 取 概 算 額)	500, 040, 000 円
発 行 時 に お け る 当 初 の 資 金 使 途	オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配プラットフォーム「SOKUYAKU」の更なるユーザー獲得に向けた広告：1, 019, 664, 900 円
発行時における支出予定 時 期	2023 年 6 月～2026 年 5 月
現 時 点 に お け る 充 当 状 況	オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配プラットフォーム「SOKUYAKU」の更なるユーザー獲得に向けたテレビ CM や Web 広告等に関する広告宣伝費：500, 040, 000 円

第6回新株予約権

割 当 日	2022 年 11 月 7 日
発行新株予約権数	1,191 個
発行 価 額	新株予約権 1 個当たり 100 円
発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	500,339,100 円
割 当 先	UBS AG London Branch 1,191 個
募集時における 発行済株式数	4,771,024 株
当該募集による 潜在株式数	119,100 株
現時点における 行使状況	行使済株式数：0 株 (残新株予約権数 0 個、行使価額 1 株につき 4,200 円)
現時点における 調達した資金の額 (差引手取概算額)	0 円
発行時における 当初の資金使途	オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配プラットフォーム 「SOKUYAKU」の更なるユーザー獲得に向けた広告：1,019,664,900 円
発行時における支出予 定 時 期	2023 年 6 月～2026 年 5 月
現時点における 充 当 状 況	0 円

(注)2023 年 10 月 30 日「第6回新株予約権（行使価額固定型）の取得及び消却に関するお知らせ」のとおり、SOKUYAKU 事業の収益性の強化に向けた取り組みが順調に進んでいることから、投資計画における当面の資金は、手元資金で充足可能である点を考慮した結果、残存する本新株予約権の全部を取得及び消却する意向を割当先に伝達し、本新株予約権による資金調達を中止することといたしました。なお、残存する 1,191 個の新株予約権は 2023 年 11 月 14 日付で取得し、消却いたしました。

第7回新株予約権

割 当 日	2024 年 4 月 1 日
発行新株予約権数	418 個
発行 価 額	新株予約権 1 個当たり 3,674 円
発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	136,624,732 円
割 当 先	当社役員 1 名 115 個 当社従業員 2 名 74 個 当社子会社役員 5 名 157 個 外部協力者 2 名 72 個
募集時における 発行済株式数	5,112,998 株
当該募集による 潜在株式数	41,800 株
現時点における	行使済株式数：0 株

行 使 状 況	(残新株予約権数 266 個、行使価額 1 株につき 3,280 円)
現 時 点 に お け る 調 達 し た 資 金 の 額 (差 引 手 取 概 算 額)	1,535,732 円
発 行 時 に お け る 当 初 の 資 金 使 途	本新株予約権の発行は、割当日において当社役員、従業員及び当社子会社の役員並びに社外協力者に対して、当社グループの業績達成及び企業価値の向上の意欲及び士気を向上させるインセンティブを付与することを目的として割当てるものであり、資金調達を目的としておりません。 また、本新株予約権の行使は新株予約権者の判断に委ねられているため、本新株予約権の行使に際して払い込むべき金額は、発行時においてその金額及び時期を資金計画に織り込むことは困難であります。従って、手取金の具体的な使途については、運転資金を予定しておりますが、具体的には行使により払込みがなされた時点の状況に応じて決定いたします。
発行時における支出予 定 時 期	同上
現 時 点 に お け る 充 当 状 況	0 円

第三者割当による新株式の発行及び自己株式の処分

払 込 期 日	2025 年 3 月 24 日
調 達 資 金 の 額 (差 引 手 取 概 算 額)	477,047,074 円
発 行 価 額	1 株につき 1,974 円
募 集 時 に お け る 発 行 済 株 式 数	5,147,096 株
該 当 募 集 に よ る 発 行 株 式 数	下記①及び②の合計による普通株式 253,300 株 ① 発行新株式数 普通株式 73,099 株 ② 処分自己株式数 普通株式 180,201 株
募 集 後 に お け る 発 行 済 株 式 総 数	5,220,195 株
割 当 先	HUMEDIT SINGAPORE PTE. LTD.
発 行 時 に お け る 当 初 の 資 金 使 途	① SOKUYAKU システムのアップデート 299 百万円 ② 広告宣伝活動 178 百万円
発 行 時 に お け る 支 出 予 定 時 期	① 2025 年 3 月～2027 年 5 月 ② 2025 年 3 月～2027 年 5 月
現時点における充当状況	① SOKUYAKU システムのアップデート 51 百万円 ② 広告宣伝活動 43 百万円

以上

ジェイフロンティア株式会社 新株式
発行要項

- | | | |
|----|------------------|--|
| 1. | 募集株式の種類及び数 | 普通株式 106,270 株 |
| 2. | 募集株式の払込金額 | 1 株につき 1,882 円とする。 |
| 3. | 払込金額の総額 | 200,000,140 円 |
| 4. | 払込期日 | 2025 年 9 月 18 日 |
| 5. | 増加する資本金及び資本準備金の額 | 資本金：100,000,070 円
資本準備金：100,000,070 円 |
| 6. | 募集の方法 | 第三者割当ての方法により、以下のとおり割り当てる。
② フロンティアインターナショナル 53,135 株
③ 鹿内隆一郎氏 53,135 株 |
| 7. | 払込取扱場所 | 株式会社みずほ銀行 渋谷中央支店 |
| 8. | その他 | 上記各項については金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。 |